

中学社会科地理分野において、

身に付けた知識を自分事として捉えて表現できる生徒の育成

—地域的特色と地域の課題をつなげる場の設定と振り返りを生かしたパフォーマンス課題の工夫—

研究のねらい

令和4年度 前橋特別研修研究員

前橋市立みずき中学校 奥村 太威

中学社会科地理分野において、身に付けた知識を自分事として捉えて表現できる生徒を育成するために、地域的特色と地域の課題をつなげる場の設定と振り返りを生かしたパフォーマンス課題の工夫を行うことによる有効性を、授業実践を通して明らかにする。

【生徒の実態】

- 社会科の学習で学んだことと自分の生活につながりを感じない。
- 身に付けた知識を自分事として捉えられていない。

【指導上の課題】

- 身に付けた知識を踏まえて将来の地域社会との関わり方について考えさせる場面設定が少ない。
- 振り返りを単元末の活動に活用できていない。

実践内容

社会科 地理分野 アジア州—急速な都市の成長と変化—

毎時間の学び

<授業の流れ>

課題をつかむ

課題を追究する

【手立て1】

- (1) 地域的特色を捉える
- (2) 地域の課題を見いだす

分かった！
違う視点で考え直せた！

まとめ・振り返る

【手立て2】

- (1) 地域の課題について自分の思いや考えをもてる振り返りの工夫

地域の課題に対しての
自分の考えは・・・

【手立て2】

- (2) 地域の課題の解決策を考えるパフォーマンス課題の設定

地域の課題を解決するために何が
できるかな……。振り返りに書いた
ことを生かして考えていこう

【手立て1】 地域的特色と地域の課題をつなげる場の設定

- (1) 思考ツールを使い読み取った情報、根拠を示しながら意見交流を行う活動を取り入れ、地域的特色を捉えられるようにする。



みずきシンキン（思考ツール）

目的に応じて、生徒の考えを整理するために、教師が選んだ思考ツール

思考ツールの種類	目的	内容
ベン図	比較・分類する	複数の対象について、ある視点から共通点や相違点を明らかにする。
ウェビングマップ	関連付ける	ある対象に関係するものを見つけて増やしていく。
クラゲ・チャート	情報の整理	多様な考えを出し合い、共通点・相違点を明らかにする。
X・Yチャート	多面的・多角的に見る	対象のもつ複数の性質に着目したり、対象を異なる複数の角度から捉えたりする。

- (2) 資料を提示し、地域の課題を見いだせるようにする。

地域的特色と関連付けながら、地域の課題を見出せるようにします



【手立て2】 振り返りを生かしたパフォーマンス課題の工夫

- (1) 毎時間の振り返りの蓄積
地域の課題について自分の考えがもてるように、授業で扱った国や地域に住む人の立場に着目し、自分の思いや考えを表出できる振り返りを工夫する。

- (2) 単元末のパフォーマンス課題の設定

毎時間の振り返りを生かして地域の課題の解決策を考えられるように、単元末にパフォーマンス課題を設定する。

社会科 振り返りシート
1年 組名()

探究課題
アジア州は、なぜ急速に経済が成長してきたのだろう。また、どのような課題があるのだろう。

月/日	内容	分かったこと(学び)	自分の思いや考え
	授業で扱った国や地域に住む人の立場で思いや考えを書く。		

アジア州のまとめ

アジア州の地理的特徴を捉え、発展を促している点にはどのような点があるだろうか。

【課題】にならった小中学生(5,6,7年生)にアジア州が抱える課題を捉え、見解を述べたうえで、自分自身の考えをまとめる活動を行う。

1. アジア州において、授業で扱った国や地域に住む人の立場に着目し、自分の思いや考えを表現する。

2. 1.でまとめた自分の考えをもとに、自分自身の考えを表現する。

3. 自分の思いや考えをもとに、自分自身の課題を捉え、解決策を表現する。

(※この活動は、1.の振り返りや自分の振り返りをもとに行い、多面的・多角的に考える)

アジア州の経済発展にちなむ課題

アジア州の課題

課題 3つ → 解決策

【手立て1】 地域的特色と地域の課題をつなげる場の設定

(1) 地域的特色を捉える (②③の場面)

多様な発展の理由を捉えられるようにするために、資料から読み取った情報をクラゲチャートを使って考察し、根拠を示しながら意見交流を行う協働的な学習を取り入れた。

(2) 地域の課題を見いだす (④の場面)

地域的特色が捉えられた後に、地域の課題に関する資料を提示し、地域的特色と関連付けながら地域の課題を見出せるようにした。

授業のめあて「中国の経済がどのように発展したか」

①自力解決の場面

生徒Aの予想



機械を大量生産して、働き手が多い

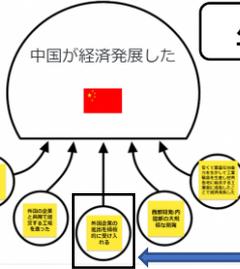
表面的なイメージ

②クラゲチャートを使った協働的な学習の場面

生徒Bの考え



海外企業の進出を積極的に受け入れたことが経済発展につながった



③自分の考えを再構築した場面

生徒Bの考えを生かした生徒Aの考え (下線部)



海外企業の進出を積極的に受け入れながら、豊富な労働力を生かして工業製品を生産した



④資料提示から地域の課題を捉えた場面

中国の地域的特色とつながりのある地域の課題を見出せるようにするために、「人口分布のようす」「大気汚染がわかる地図」「地域格差の写真」の資料を提示した

生徒Aの振り返りの内容

経済特区を設けることで、国が豊かになったけど、排気ガスや人口増加などで苦勞が増えた。沿岸部だけでなく、内陸部の開発にも力を入れてほしい。

【手立て2】 振り返りを生かしたパフォーマンス課題の工夫

(1) 地域の課題について自分の思いや考えをもてるようにする振り返りの工夫

毎時間の振り返りをシートに蓄積できるようにした。振り返りの視点は「分かったこと」と「思いや考え」とした。「思いや考え」を書く際に、授業で扱った国や地域に住む人の立場に着目して振り返るように声をかけた。

(2) 単元末のパフォーマンス課題で「地域の課題の解決策」を考える

蓄積してきた振り返りの内容を見返して、「アジア州が抱える課題を解決し、発展を続けていくためにはどのようなことができるのだろうか。」というパフォーマンス課題を設定した。地域の課題の解決策を考えることで、小単元で捉えた概念的知識と生徒を近づけようとした。

生徒Cの各単位時間の振り返り

「中国」
経済成長をして、工業製品を作り、世界各国に輸出してよかった。でも、都市に多くの人が集まりすぎて、環境にも多くの問題があって大変だ

「東南アジア」
経済が発展したのはよかったが、都市はスラムの形成や過密で困っていた

地域の課題の解決策

「過密について」
過密を解決するためには、都市部の周辺に新しい街を開発して移転を勧め、過密地域の人口を少なくします。

生徒Cは2つの振り返りからアジア州の地域の課題(過密)を捉え、その解決策を考えることができました

成果

- 思考ツールを使いながら読み取った情報をグループで考察して、意見交流を行う活動を取り入れた結果、地域的特色を捉える生徒が増えた。
- パフォーマンス課題を設定することで、地域の課題について自分の思いや考えを生かして解決策を表現できる生徒が増えた。

課題

◇生徒が考える地域の課題の解決策が一般的なものになってしまった部分がある。そのため地域の課題の解決策を考える際に、日本の立場に着目できるようにすることで、より自分たちの生活と関連付けて具体的な解決策を考えられるようにしていきたい。